

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどものつむぎ 1 号(放課後等デイサービス)

公表日 2025年3月11日

利用児童数 40名

回収数 2.0 名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	つむぎ内はこどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	3	1			同じ空間を使用するご利用児童の人数や 組み合わせなどを工夫しながら安全に 活動が行えるよう日々検討・改善をし ます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であると思いますか。	20					
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がされていたり、清潔で 心地よく子どもたちの活動に合った環境になっていますか。	15	4	1		外階段が雨や雪の時危険あり。	外階段に関しては、荒天時は別階段の ご案内をさせていただくとともに、修繕 できる箇所から随時修繕を行ってい きます。
適 切 な 支 援 の 提 供	4	つむぎの職員の支援は、こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援ができていると思いますか。	20					
	5	事業所が公表している支援プログラム（HPに掲載されています）は、事 業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			4	HPみてない。	HPなどの媒体を見て頂けるよう情報の伝 達の仕方を工夫します。
	6	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	20					
	7	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	20					
	8	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19			1		
	9	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	19	1			子どもの発達や困り感を考えて活動内容 を工夫してもらっている。	
	10	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	8	2	3	5	無回答 1	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	19			1		
	12	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	20					
	13	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	9	2	1	8		
	14	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	20				学校や家庭の様子を聞いてもらいたい色々 確認することができてありがたい	
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1		1		
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					
	17	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	3	8	無回答 1	
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	15	1		3	無回答 1	
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	20					

	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	3		3		
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1		2		
非常時等の対応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		6		マニュアルはありますし、訓練も随時行っておりますが周知が上手くできていませんでしたので、今後は積極的にお知らせできたらと思います。
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2		10	経験がない	
	24	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	2		8	経験がない	
	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1		6	経験がない	お怪我がなく利用時間を終えることが目標ではありますが、お怪我につながってしまった場合は速やかな連絡・様子伺いなどを大切に行っていきたいと思っています。
満足度	26	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1			安心して通える場所のひとつ。2	いつもありがとうございます。これからも皆様に安心や楽しみを持って利用をしていただけるよう、出来る限りのことを精一杯頑張りますので今後ともよろしくお願いいたします。
	27	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1			とても楽しみにしている。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	19	1			大満足	

事業所名 こどものつむぎ1号

公表日 2025 年 3 月 11 日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	5			利用時間によってはせまい時もある。調整が難しいがタイミング等配慮を考えてスケジュールを組んでいく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がされていたり、清潔で心地よく子どもたちの活動に合った環境になっている。	1	5		出来る箇所から修繕等を行っている。	外階段（手すり・屋根）や玄関扉は改善できると良い。
	4	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1			
業務 改善	5	職員の意見等を把握する機会を設け業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しその内容を業務改善につなげているか。	6				
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				事業所に掲示しているが、知らない保護者様もおられるので周知や案内は必要。
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	4	1	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		1		
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			研修の機会が多い。	
適切 な 支 援 の 提 供	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2			
	11	個々のこどもに対して標準化されたアセスメントツールを用いて適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1			
	12	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			職員間で情報を共有し作成をしている。	
	13	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	15	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		集団活動はできている。個別は相談をふまえ、その日の担当が最終決定する。	
	16	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6				
	17	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6				
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せを設定し、スタッフ間の役割分担を行い、支援後は定期的な振り返りを行い気付いた点を共有している。	6				
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				
	20	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
	21	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6				
関 係 機 関	22	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6				
	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6				
	24	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		基本は保護者様からの情報を通じて。送迎時の対応については相談をその都度させていただいている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		学校と福祉で連携をとっていけるよう、相談員も入り調整してもらっている。	
	26	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6				

や 保 護 者 と の 連 携	27	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			移行支援会議に参加して情報の共有につとめている。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		児童発達支援から利用のある子に関しては情報も多いため、必要な情報や助言などはいただける場合もある。	
	29	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	3		機会がない。
	30	放デイ部会などの自立支援協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1			
	31	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			都度確認をしながら療育をすすめている。	
	32	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	2	研修案内等情報はお伝えしている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	33	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
	34	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1			対子どもへの意思確認をもう少し強化できると尚良いと感じる。
	35	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				
	36	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				
	37	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	2	2	『DANCEWITHHIDEMI』というイベントを通して、保護者様同士の交流を図る機会になっている。	
	38	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	1		苦情の意見をいただいたご家庭にのみ対応をしており周知まではしていない。
	39	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2			ご案内は必要と感じる。SNSされていない保護者様もおられるので発信方法を検討しながら宣伝をしていく。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6				
	41	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6				
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	1	つむぎマルシェなど行っている。	
非 常 時 等 の 対 応	43	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	1		マニュアルがあることを知らない方が多いと思うので周知をしていく。
	44	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6				
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6				
	46	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	1		
	47	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1			
	48	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	5			年度末に紙面ににて周知を行っていく。
	49	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6				
	50	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				
	51	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1			対象児が今はいない。

○事業所名	こどものつむぎ 1 号（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2 0 2 4 年 1 2 月 1 日～1 2 月 2 9 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 8 名	(回答者数)	2 0 名
○従業者評価実施期間	2 0 2 4 年 1 2 月 1 日～1 2 月 2 9 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 名	(回答者数)	6 名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	その子に合わせた活動内容を考えている。	・各資格のもつ様々な視点で意見を出しあい、利用に必要な課題や道具は協力して作成をしています。	・限られた利用時間なので、療育で出来たことを日々にも生活にも活かしていけるような提案を今後も行っていきます。
2	保護者様との共通理解が図れている	・保護者様から見たお子さんの姿と、スタッフから見たお子さんの姿を総合し、療育の目標を設定しています。	・家庭や学校などの生活の場面でできること、つむぎの療育時間内にできることは上手く分担できてくるとより充実するのではないかと感じました。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内外の環境面の改善	・事業所内：利用児が重なると、スペースが狭く感じる場合があります。 ・事業所外：荒天時の外階段が危ないと感じる場合があります。	・事業所内：利用時間の調整をしたり、一緒にできる場面は共有するなど、お子さんの相性も見ながらスペースの使用の仕方を考えます。 ・事業所外：修繕が完了するまでは、別ルートからの来所をを提案し、安全に移動ができるようご案内します。
2	災害等の避難訓練後の周知	・訓練の機会があるが、全ご利用児対象で行えていなかったため、弊社が避難訓練をしたのかノ実施後の報告が十分ではなかったと感じます。	・災害時のマニュアル、避難経路の周知を行います。 ・全利用児が訓練に参加できなくても、対策は講じているということを書類にて報告します。
3	地域との連携	・いつくるか分からない災害に関して、弊社と地域との関係性がまだ築ききれていないと感じます。	・地域でのイベントに参加をしていき、まずは顔見知りの関係になれるように心がけていきます。